

UNIVERSITY ENTRANCE EXAM SPECIAL

海外大学進学のための予備校紹介

アゴス・ジャパンで、夢をかなえる海外大学進学を!

「文理を分けずに幅広い分野を思う存分学びたい」「大学でさまざまな領域を学んだ上で自分のやりたいことを見つけない」という人の希望にこたえる海外大学進学。アゴス・ジャパンでは、海外トップ校への合格までをトータルサポートしている。

日本では一般に、学部や学科を選んで大学受験に臨むが、海外、特にアメリカのリベラルアーツ教育では入学時に専攻を定める必要がなく、さまざまな領域について学びつつ、自分の専攻を見極めればよい。そこで最近、より多くの高校生が、“海外大学進学”を選ぶようになってきている。

■ 短期間でTOEFLスコアアップ

「強い意志を持ってコツコツと勉強すれば、日本の高校生が卒業後にアメリカの大学に進学するのは、そう難しいことではありません」と、海外留学対策の指導を行なうスクール、アゴス・ジャパンの加藤正人先生。加藤先生は特にTOEFLテストの指導に関して長い経験を持っている。「アメリカの、特にトップレベルの大学に合格するには、

TOEFLの高いスコアと、SATというアメリカ版センター試験の好成績、高校での優秀な成績・課外活動での評価などが必要とされます。英語に関しては、伝統的な日本の受験英語対策では歯が立たず、リスニングやスピーキングも含めた4技能をバランスよく伸ばす学習が不可欠です。TOEFLという試験の特徴を理解し解答のコツをつかむことも大切であり、アゴス・ジャパンでは短期間でスコアアップを可能にするための指導を行なっています。海外生活経験がなく、日本国内だけで教育を受けてきた生徒も数多く通っている。

TOEFLは海外の多くの大学で英語力の指標とされており、日本の大学に進学してから留学を目指す人にとっても、高いスコアを持っていると大変有利に働く。

■ 情報収集から出願までサポート

高校を卒業してすぐに海外の大学へ、と考えているのであれば、高校1年生から準備を始めるのが理想的。中には、中学生のうちからアゴス・ジャパンに通っている例もある。

アメリカのトップ校へ出願する場合、高2の終わりごろまでにTOEFLやSATなどのスコアメイクを終えておきたい。高3以降は出願校のリサーチやエッセー作成などのプロセスを経て、早期出願では11月上旬、一般出願でも1月上旬に出願が締め切られる。「アゴス・ジャパンでは、高校生から大学生、社会人が同じクラスで学んでいます。高校生は勉強に費やす時間を確保しやすい分、社会人よりも有利だと言えます」(加藤先生)。

思うようにスコアが伸びない場合は、講師やアドバイザーが相談に乗ってくれる。海外の大学の情報収集や出願に必要な書類についてのサポートが総合的に得られるのも、専門のスクールならではの大きなメリットだろう。



米オレゴン大学大学院で修士号を取得、日本の商社での勤務経験もある加藤正人先生



〈渋谷校〉
TEL: 03-3463-1343
〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町18-4 二宮ビル
〈大阪校〉
TEL: 06-6123-7053
〒530-0004
大阪市北区堂島浜2-2-28 堂島
アクシビル4階
<http://www.agos.co.jp>